

題目 サイコパス傾向と協力傾向の関係：囚人のジレンマゲームを用いた検討

氏名 中村文彦

指導教員 高橋泰城

本研究の目的は、サイコパスの 2 因子モデルに注目して、サイコパス傾向と協力行動の関係を検討することにある。

サイコパスとは、反社会的行動を特徴とする病理の中でも、情動の機能不全という基盤を持つパーソナリティ障害を示す人々のことである (Blair et al., 2005)。サイコパス傾向は病因学的に異なる 2 因子：primary psychopathy (Pri-P、情動/対人関係面の障害) と secondary psychopathy (Sec-P、生活様式/反社会性) から構成される (Blair et al., 2005)。Pri-P は基礎的な情動や注意メカニズムに関する内因性の、先天的な機能不全から生じると仮定されている。一方、Sec-P は環境的、心理社会的要因の間接的、後天的な結果として生じると仮定されている。

サイコパス傾向と協力行動の関係を検討した先行研究 (Rilling et al., 2007; Mokros et al., 2008; Koenigs et al., 2010; Curry et al., 2011; Gervais et al., 2013) の結果、Pri-P の程度が高い人ほど非協力的であることが明らかになった。しかしながら、伝統的な文献 (Hare, 1993; Blair et al., 2005) では、サイコパスは 2 因子モデルにおける両方の特徴を併せ持つとされる一方で、従来の研究はサイコパスの 2 因子モデルに十分に注目していない。そこで本研究では、同時囚人のジレンマゲーム (同時 PD) と順次囚人のジレンマゲーム (順次 PD) を用いて、サイコパスの 2 因子のそれぞれ、あるいはそれらの交互作用が、協力行動にどのような効果を及ぼすかを検討した。

20 代から 50 代までの一般の人々 (N = 456) が実験に参加した。参加者のサイコパス傾向を測定するために、Levenson Self-Report Psychopathy (Levenson et al., 1995) を用いた。また参加者の協力傾向を測定するために同時 PD、および順次 PD を用いた。同時 PD では 2 人の参加者は同時にお金を相手プレイヤーへ提供するか否かを決定したが、順次 PD では一方の参加者は最初に決定し、もう一方の参加者は相手の決定を見た後で提供するか否かを決定した。後に決定する場合の回答には strategy method を用いた。またゲームで用いる金額は、300 円、800 円、1200 円の場合があった。つまり、同時 PD で 3 回、順次 PD の第 1 プレイヤーとして 3 回、順次 PD の第 2 プレイヤーとして 6 回 (相手が提供した場合について 3 回、相手が非提供した場合について 3 回) 行った。どのゲームをプレイするか、どの役割になるのか、元手の金額はいくらかについてはランダムに決定され、毎ラウンドのはじめに参加者に知らされた。

実験の結果、同時 PD、および順次 PD の第 1 プレイヤーにおいては Pri-P および Sec-P と協力傾向の関連が見られたが、順次 PD の第 2 プレイヤーにおいて相手が先に非協力をした

場合においては、サイコパス傾向との関連が見られなかった。また、順次 PD において相手が先に協力した場合においては、**Pri-P** と **Sec-P** の交互作用効果が見られた。交互作用効果のパターンを調べたところ、1) 両方の因子が高いとき、**Pri-P** は協力傾向を抑制する効果をもつこと、そして、2) **Pri-P** が低い場合、**Sec-P** は協力行動を促進する効果を持つことが明らかになった。前者の結果は、これまでサイコパスの研究で報告されてきたような、両方の因子が高い人（典型的なサイコパス）においては **Pri-P** が協力傾向を抑制するという結果と一貫する結果である。また **Sec-P** は **Pri-P** が低い場合においてのみ、協力行動を促進する効果を持つという結果は、本研究が初めて明らかにした知見である。**Sec-P** は衝動的な行動に関して問う項目が多いため、この結果は、衝動性が高い人ほど協力傾向が高いと解釈することができる。近年の研究では、PD において協力傾向の高い人ほど意思決定の時間が早いという結果も報告されているため (Rand et al., 2012)、本研究の結果は、その研究結果と一貫すると考えられる。

これらの結果から、サイコパスの 2 因子と協力傾向の関係は、**Pri-P** が協力性の方向性を決め（協力、もしくは非協力）、**Sec-P** が **Pri-P** が決めた協力性の行動の程度を決めるというものであると考えられる。

(1,878 字)